



**【特別企画】**

## 東日本大震災3年 塑性加工メーカー 復興の軌跡

2011年3月11日に発生した東日本大震災から3年。震災はサプライチェーンを担う製造業にも多大な被害をもたらした。被災した塑性加工メーカーでは生産停止を余儀なくされ、震災で失った仕事は今も回復できずにいる。しかし、苦境の中でも新たな道を模索し、復興に向かって今も歩み続けている。

地震と津波によって甚大な被害を受けた宮城県。南東部に位置する山元町は、635人の命が失われ、総面積の約37%が浸水するなど広範囲に渡って津波被害を受けた地域である。町内に点在する製造業は、被災した工場も少なくない。サプライチェーンの影響を軽減するBCPを再構築した岩機ダイカスト工業(株)。震災で減少した受注をカバーするため新規分野に参入しようと奮闘する(有)大友製作所。2社の塑性加工メーカーの復興までの軌跡取材した。